

支援対象国

ベトナム社会主義共和国



ベトナムは、国土が南北に1,650 km、東西に600 kmという縦長の国です。国土が縦に長いことから、地域によって気象条件を大きく5つに大別することができます。

その中で、日本赤十字社が活動を展開しているベトナム北部に位置する、「北部山岳地帯」、「紅河デルタ地帯」、「中部沿岸地帯」という3つの地域には、毎年6～8つの台風が襲来し、強風・高波・津波による経済的損失はGDPの1.5%にも上ります。

これらの地域は、1990年代に比べて気温が上昇しており、それに併せて海面も上昇していることが被害を拡大させている要因の一つとされています。



これまでのご支援、誠にありがとうございます。
赤十字の活動は皆さまからのご寄付に支えられています。

平成28年度
地球温暖化防止
活動環境大臣表彰
(国際貢献部門)
受賞

ベトナム災害対策事業

※ 2017年事業終了



〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3
日本赤十字社 <http://www.jrc.or.jp>
TEL: 03-3437-7089 (国際部 開発協力課)

2018年5月作成



人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

「災害に負けない地域に」

日本赤十字社は、災害の多いベトナムで、いざと言う時に住民たちが率先して、自分たちのいのちを守るようにするために、住民一人ひとりが意識と行動を変え、災害に強い社会づくりをできるよう、支援しました。

活動1 マングローブ/防風林の植林と保護



防波効果のあるマングローブを地域の住民が自らの手で植え、守り続けることで、強風や高波が町や村に押し寄せる事を防ぎます。

コミュニティ主体の防災教育・防災活動

住民が身近な災害について考え、いざと言う時に率先して行動できるように、防災教育を実施。コミュニティごとのリスクに合わせた防災活動も実施しました。



活動2

活動3 ベトナム赤十字社の組織強化



活動を支える赤十字ボランティアと職員の能力を強化するため、必要な研修や環境整備を行いました。

事業概要

- 事業名（日本語）：ベトナム災害対策事業
- 事業期間：1997年4月～2017年8月
- 事業地：ベトナム社会主義共和国 北部10省

日本赤十字社は、1997年から2015年までの19年間で、約7億5,288万円をベトナム赤十字社に支援しました。この資金を財源の一部とし、ベトナム北部において、これまで10,408ヘクタール（東京ドーム2,226個に相当する面積）に及ぶ土地にマングローブ/防風林を植林・補植してきました。近年では、新たなマングローブ植林活動よりも、補植・保護活動や、災害への対応能力を高めるための防災教育・防災活動を中心とした活動に注力しました。



小学校での防災教育の様子©IFRC



災害救護訓練の様子©IFRC

災害に負けない地域

活動1

被害抑止効果のあるマングローブや防風林が育っている

活動2

被害軽減のために必要な防災知識を住民が持っている

活動3

住民を支援する組織（ベトナム赤十字社）が安定している

こんな副次効果も…



「私は子育ての傍ら、毎日マングローブ林で貝やカニ・エビを捕っています。1日10キロほど取れる収穫を、丁寧に泥を取って市場に持って行くと、1日当たり200～450円の現金収入になります。作業は大変ですが、自分の住んでいる村のすぐ近くで安定して収入を得ることができるマングローブ林が広がっていることを嬉しく思っています。」

こんな物が必要です



マングローブ教科書1冊 **50円**

学校での防災教育に使われます。気候変動やマングローブを守ることで洪水被害を防げることを学びます。

災害対応装備1人分 **2,800円**
コミュニティ災害対応チームが救助に必要な装備で、レインコート、長靴、懐中電灯、ライフジャケット、救命浮袋が含まれています。



早期警報1セット **180,000円**

災害時いち早く避難指示などの情報提供をするため、サイレンと発電機を備えた警報システムを整備しています。